

# 信頼され尊敬される規制当局の説明責任 —経験から学んだこと—

平成20年3月4日

原子力学会シニアネットワーク連絡会

(財)発電技検 佐々木 宜彦

# 1. 規制当局への信頼 キーファクター

規制者として有する技術力、判断力、力量に権威がある

緊急時における危機管理能力に優れている

規制に問われているもの、求められているものが何かを常に理解し対応している

規制行為の根拠を常に公開し、説明している

常に公正な立場で規制行為を行っている

誠実な態度で相手の立場に立って、わかり易く、繰り返し説明責任を果たしている

## 2. 危機管理としての説明責任

規制が頼りにされ信頼されるには、  
危機管理能力に優れていることが最も重要なファクターである

- 緊急時は突然起こる — 咄嗟の行動、対応が事態の進展の鍵となる  
(拙速でも行動を起こすことが鍵となる)
- 第一報は起こっている事実のほんの一部であり、先入観念を捨てる
- 事態を認識し、把握する上で、  
何が起きているか 現在どういう状況か 今なすべきことは  
何が求められているか  
を的確に判断し意思決定することが、初期動作のポイントとなる
- 時間の経過の中で分るものからとりまとめ、迅速に情報提供していく  
姿勢  
が求められている
- 情報の不足、あいまいさ、開示のズレが誤解、批判、不信感を生み、  
風評、  
デマにつながることを意識して、説明責任を果たすことが求められて  
いる

### 3 . 規制の説明責任に求められる留意事項

規制の説明責任は、安全が確保されているかどうかを法令、ルールに基づき、その判断根拠を説明することにつきる

規制の根拠となる規格基準は国際水準とハーモナイズしたものであり、科学的・技術的合理性に基づき客観性を有するものとして、ステークホルダーも納得できるものであるべき

ステークホルダーとの常日頃からのコミュニケーションの積み重ねが、いざという時の信頼につながる

説明責任を果たすためには、組織に必要な人材が確保され、業務の分掌体制が、組織外に明確に理解される必要がある

求められている説明責任を果たすには、高度な訓練が必要である

## 4. 原子力コミュニケーションに望まれる共通の認識 (1/2)

### 人類が地球に生存し得る要件とは

- \* 46億年の地球の歴史と未来に対する科学的洞察が不可欠
- \* 人類と地球に生存する生命(動植物等)が如何に共存していくか 価値観の共有

### 人類にとってエネルギー利用の歴史と未来をどのように考えるか

- \* 薪炭 石炭 石油 多様なエネルギー供給ソースの組み合わせと選択

(原子力は最も有力な選択肢の一つ)

- \* 人口が激増している人類が、将来必要としているエネルギー量と地球のキャパシティーとの関係についての科学的分析予測を理解しようとする努力の必要性
- \* すべからく人間はエネルギー利用の拡大によって、豊かで便利な生存を享受したいとの権利を有することへの理解

## 4 . 原子力コミュニケーションに望まれる共通の認識 (2/2)

原子力の選択は文明の選択でもある

その人の宇宙観、地球観、人間観

- \* 科学や技術の進歩を冷静に受け止める理性と知性が原子力への理解につながる
- \* およそ森羅万象には **光と影 表と裏** がある
  - ・原子力の光と影を科学的、理性的に認知することの大切さ
  - ・科学や技術によって影の部分をリスクコントロールすることが人類の叡智

## 5. 冷静かつより深いコミュニケーションのために 反省と考えるべきこと (1/2)

正しい体系的エネルギー教育がなされてこなかった

- \* 教育は国の基本にも関わらずイデオロギーの対立が原子力に持ち込まれた

権利あるところに義務が発生しているとの社会秩序が崩れてきている

- \* 電気の恩恵をうけていることが当然であり一方的権利であるとの誤解
- \* もし停電が発生すれば？ 責任追及とあげつらいに終始する社会風潮
- \* 社会はそれぞれの役割分担で成り立っている
  - ・生存している上での権利と義務の関係に思いをはせることができるか
  - ・役割分担のうえで生存していることへの感謝の気持ちを忘れていないか

## 5. 冷静かつより深いコミュニケーションのために 反省と考えるべきこと (2/2)

物事の本質を議論し理解しようとする人間力が求められている  
皮相な議論の横行

- \* 国益としての原子力の議論、認識の欠如  
日本のマスコミの構造的要因による原子力報道が社会の原子力理解に大きな影響をもたらしている  
国家の存立、国益と地方分権との関係が理性的かつ公正に議論されていない
- \* 原子力の場合、紳士協約である安全協定の絶対的存在
- \* 地方の政治、選挙情勢が原子力に大きな影響をもたらしている  
原子力の安全にたいする科学的認識がなされているか
- \* 絶対安全を求めた歴史的事実は日本社会全体の責任としてとらえるべき
- \* 事故と事象の区別が合理的になされるための科学的認識努力の欠如